

あなたがたの切り出された岩、掘り出された穴を見よ。

イザヤ51:1

2013(25)年 週 報

11月10日

第2聖日

第3325号

「祭司の務め②」

聖
言

私は、キリストが異邦人を従順にならせるため、この私を用いて成し遂げてくださったこと以外に、何か話そうなどとはしません。キリストは、ことごとく行いにより、また、しるしと不思議をなす力により、さらにまた、御霊の力によって、それを成し遂げてくださいました。ローマ15:18、19

四国聖会の恵み

四国中央市にある川之江栄光キリスト教会の聖会に行つてまいりました。急に決まった聖会でしたが、一〇名の方々が集まりました。西田潔嗣先生と長男の牧人兄が教会を守っています。

神様は御兄弟の生活を支え、木島家は今年の秋に母親と次男の恵兄が洗礼を受け、家に帰ってこられた長男の泰兄は子供の時に洗礼を受け、一家三人が集会に来ています。竹内姉は木島姉の姪です。次男の亮二兄と集会に来られています。川之江栄光キリスト教会は初代の西田照雄先生によって救われた家族が継続して教会に来られていることが特徴です。本部におきましても信者の家族が信仰を継続して集会に参加することを願います。四国は助けての少ない中に救われる魂が次から次へと起こされています。本部は四国に比べて条件は恵まれているので、魂がもつと救われるように謙虚に反省しなければなりません。教団の各教会が自立できてフルタイムで教会活動ができるようにのらねばなりません。それとともに本部から救われる魂が続々と起こされ各地に宣教師として遣わされ教会が建設されそこからさらに救われる魂が算で起こされるように励みましよう。ますます、日本は個人主義に傾き、世界に目を閉じています。日本にキリストの証人として遣わされた私たちクリスチャンが神の祝福を伝えましよう。

イエス・キリスト聖成伝道教会・東洋聖書神学院・聖成基督教団

牧師 山本 稔 〒653-0812 神戸長田区長田町1丁目2番6号

電話：FAX (078) 691-1419 郵便口座番号 01170-3-20374

<http://jchec.org/>

minoru_yamamoto@hotmail.co.jp メール m7-inoru@ezweb.ne.jp

二〇一三年一月三日午前一〇時 礼拝 山本牧師

「祭司の務め」

「それも私が、異邦人のためにキリスト・イエスの仕え人となるために、神から恵をいただいているからです。私は神の福音をもって、祭司の務めを果たしています。それは異邦人を、聖霊によって聖なるものとされた、神に受け入れられる供え物とするためです。」

(ローマ一五ノ一六)

祭司は犠牲の羊を屠って神にささげて神と人間の執り成しをする。パウロは自分を祭司の務めをしている。すなわち神と人の仲介者としている。祭司はきよくなくてはいけない。そして祭司は神の言葉をそのまま語らねばならない。神の言葉により異邦人をきよき供え物として神にささげる務めを任されている。

二〇一三年一月六日午後七時 祈禱会 山本牧師

「ヨハナンの不忠実」

「イスラエルの神、万軍の主は、こう仰せられる。見よ。わたしは人を送り、わたしのしもべバビロンの王ネブカデレザルを連れて来て、彼の王座を、わたしが隠したこれらの石の上に据える。彼はその石の上に本営を張ろう。」(エレミヤ四三ノ一〇)

エレミヤの言葉をヨハナン達は神の言葉であると認めなかった。丁度主人に「タラントを預かった僕が土の中に隠していた。主人が蒔かないところより刈り取り、散らさない所より集まる方だ。主人はそれなら何故銀行に預けて利子を得なかったかと答えた。この答えも神様を厳しい方であると見ていた。

「第十一回癒し五〇日連続祈禱」

一〇月一八日(金)〜二月六日(金) 午後一時〜午後二時半

(祈りの後、楽しいティーで休憩)

場所 教会 階(気軽に参加して共に祈りましょう)

路傍伝道 午前九時〜一〇時半

場所 月、火 高-speed長田駅前

水 J R兵庫駅南広場

木 J R元町南側

金 J R三宮交通ビル南

賛美とメッセージです。見たらお声をかけてください。

「二〇一四年新年聖会」

元旦(水) 午前一〇時 元旦礼拝

二日(木) 新年過ぎ越し聖会

午前一〇時 聖餐式聖会 山本師

午後二時 足達師

午後七時 西田師 新年祈禱会と牧師会

「宣教とは②」

礼拝の回復と宣教の完成

神は罪と死の権威の下にいる人間を救って神の国を回復し、ご自身の栄光のために礼拝を受けられることを願ひ、礼拝が消えた場所に礼拝を回復するために宣教を望んでおられる。つまり私たちに与えられた最後の働きは宣教でなく礼拝であり、礼拝が回復すれば宣教は不要になるだろう。「御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから終わりの日が来ます。」(マタイ二四ノ一四)。「天の御国は、海におろしてあらゆる種類の魚を集める地引網のようなものです。網が一杯になると岸に引き上げ、座り込んで、良いものは器に入れ、悪いものは捨てるのです。この世の終わりにこそそのように

なります。」(マタイ一三ノ四七〜四九)。私たちはなぜこの世にこれほど多くの悪が存在するのか、神はなぜ悪人を直ぐに裁かないのか、疑問に思う時がある。世の終わりまで、海には悪い魚と良い魚が共存し、畑には毒麦と良い種が存在し、野には羊と山羊が共存する。神は約束の成就を遅らせておられるのではない。千年を一日のように待っておられる。主は忍耐深くあられ、ひとりでも滅びることを望まず、すべての人が悔い改めに進むことを望んでおられるのだ。(口。ペテノ九)。しかし、イエス・キリストは必ず再臨される。キリストが再臨される救いの日に、「あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大勢の群衆が」主の救いを賛美することを確実な約束として示されている。その後、私は見た。見よ。あらゆる国民、部族、民族、国語のうちから、だれにも数えきれぬほどの大勢の群衆が、白い衣を着、しゅろの枝を手にとって、御座と小羊との前に立っていた。彼らは、大声で叫んで言った。「救いは、御座にある私たちの神にあり、小羊に在る。」御使いたちはみな、御座と長老たちと四つの生き物との回りに立っていたが、彼らも御座の前にひれ伏し、神を拝して、言った。「アーメン。賛美と栄光と知恵と感謝と誉れと力と勢いが、永遠に私たちの神にあるように。アーメン。」(黙示七ノ九〜一二)。また宣教の完成として、諸国が神の光によって歩み、諸国の民の栄光と誉れが神の都に携えて来られることを預言している。諸国の民が、都の光によって歩み、地の王たちはその栄光を携えて都に来る。都の門は一日中決して閉じることがない。そこには夜がないからである。こうして、人々は諸国の民の栄光と誉れとを、そこに携えて来る。(黙示二一ノ二四〜二六)。続き(ワイ ミッションより)

今年のクリスマス試案

日時 一二月二二日(日)

賛美礼拝 午前十一時

コンサート 午後二時

ピアノと賛美 水野夏子姉、水野洋一兄、

ギター演奏 木島 泰兄

大日丘クリスマスたこ焼き会

日時 一二月二三日(月)

たこ焼き会 午後二時、

ギター演奏 木島 泰兄

パソコン教室

講師 永井敏克兄(神戸フィラデルフィヤ教会会員)

日時 一二月二三日(土) 午前一〇〜一二時

ノートパソコンを持ってきてください。

二時間 一人四〇〇〇円

二人六〇〇〇円 別途交通費が加算されます。

※ 現代社会において欠かせない道具です。

クリスマス約束献金日十一月十七日

普通会計不足が一〇月会計で七十万円になり、一二月には百万円に達します。乞う祈禱と協力 牧師・役員一同

クリスマス費 一〇万円

コンサート講師費 五万円

普通会計不足 一〇〇万円

合計 一一五万円